

このたび高島屋では「風詠抄一譚・常・楽・浪一」を、美術部創設110年記念の一環として東西4店舗の美術画廊でそれぞれ開催いたします。

高島屋美術部は110年の歩みの中で、百貨店内にある画廊として広く一般大衆に向けて質の高い美術作品や作家を紹介するため、数々の展覧会を開催してまいりました。一方、襖や屏風、掛け軸、工芸品など、日本の美術は室内装飾や実用品としてくらしの中で生まれ溶け込み、またくらしや文化とともに発展してきました。高島屋は日常の文化に寄り添い、人々の生活を豊かにする企業として、そうしたくらしの中で美術に親しんでいただくことを大切に思い活動してまいりました。

その中で現在、特に今世紀に入ってからIT革命に端を發した止まることを知らない高度な情報化やグローバリズムなどの進展による価値観の劇的な変化と多様化の波は、百貨店の画廊をとりまく美術市場にも大きな影響を与えています。

私たちは時代が移り変わり、社会が変化し多様化しても、

そこを貫く普遍的な美の価値が存在すると信じ、今回はベテランから気鋭作家、伝統工芸から現代美術まで多様なジャンルの優れた表現者の皆様の出品協力を得て、高島屋が考える現代の美の空間をご提案させていただきます。

地域ごとの高島屋美術画廊の個性を表現し、横浜店、東京日本橋店、新宿店は各々「常」「譚」「楽」のテーマで2週間の同時期開催、大阪店は「浪」をテーマにやはり2週間の開催となります。

横浜店では「風詠抄一常」とし、美は常に身近にあり、またその美から発せられる永遠の問いをテーマに会場を表現いたします。

時代の風を読み、美を通して人生の詩情を詠む。伝統と現代、平面と立体、素材や技法、多彩な作品が相対峙し、融合することで奏でる空間の妙。今展にて皆様それぞれの美を見いだしていただければ幸いです。

高島屋美術部

同時期開催

風詠抄一常

2018年3月7日(水)→20日(火) 高島屋横浜店7階美術画廊

出品作家 (敬称略・50音順)

浅井裕介 (絵画)
安藤和夫 (木工)
内田あぐり (絵画)

佃真吾 (木工)
前原冬樹 (彫刻)
ミヤケマイ (平面)

留守玲 (金工)
王舒野 (絵画)

東京 風詠抄一譚

2018年3月7日(水)→20日(火) 高島屋日本橋店6階美術画廊 〒103-8265 東京都中央区日本橋2-4-1 TEL (03)3211-4111

井川 健(漆芸)・井上有一(書)・伊庭靖子(絵画)・オノデラユキ(写真)・林 茂樹(立体)・深見陶治(陶芸)・福本潮子(染色)・三島喜美代(立体)・宮崎 進(絵画)

新宿 風詠抄一楽

2018年3月7日(水)→20日(火) 高島屋新宿店10階美術画廊 〒151-8580 渋谷区千駄ヶ谷5-24-2 TEL (03)5361-1111

天野喜孝(絵画)・井上裕起(立体)・瀧下和之(絵画)・永島千裕(絵画)・花井祐介(絵画)・松岡ミチヒロ(立体)

大阪 風詠抄一浪

2018年3月28日(水)→4月10日(火)高島屋大阪店6階美術画廊 〒542-8510 大阪市中央区難波5-1-5 TEL (06)6631-1101

押江千衣子(絵画)・木野智史(陶芸)・田嶋悦子(陶芸)・館 勝生(絵画)・増田敏也(立体)・三瀬夏之介(絵画)・元永定正(絵画)・森村泰昌(写真)・八木 明(陶芸)

※最終日は各店とも午後4時閉場。※詳しい営業時間は各店にお問い合わせください。

